

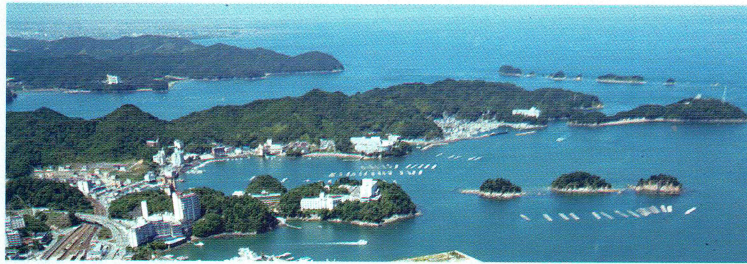
伊勢志摩国立公園

鳥羽市

小お 浜は ま



文化財と史跡散策



1 小浜民部墓地跡(石碑)

9 小浜民部墓地(石碑)

小浜民部は、戦国時代から安土桃山時代にかけての人物で、志摩国出身の海賊から武田信玄、徳川家康に仕え水軍の将となりました。
墓地は旧小学校(現公民館)裏手にあります。(平成20年移設)



2 伊良子清白詩碑(安乗の稚児)

みずそこ
水底の泥を逆上げ
かきにごす海の病
そり立つ波の大鎌居
過げとこそ船をまつらめ



3 伊良子清白詩碑(参宮船)

磯は西風かめほす 山はつゝじの花ざかり
きのうの雨の水たまり つばめがどろをすくいとる
はたでかざった参宮船 遠い紀州の船も来た

参宮船の墨書は、昭和33年1月10日、済渡院で行われた清白13回忌を記念して、書家田畑昭典により書かれました。没後75年の2020年(令和2年)12月25日建立



4 伊良子清白住居地跡(石碑)

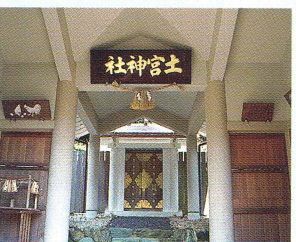
伊良子清白は最初の詩集を出版後、台湾・京都などの病院を経て、45才で小浜の地で診療所を開業し、村医を務めながら詩壇に復帰、地域の文学活動の指導を続けました。



5 八幡神社

小浜氏の居城であった小浜砦が小浜港の北側に突き出た半島状の岬「城山」に社(やしろ)として残されているのが八幡神社です。

漁業の繁栄と海上安全、無病息災、大漁祈願を主題に、海の神として町民こそって参加する祝祭として天王祭りに併せて斎行されています。



6 土宮神社

海上安全・漁業の繁栄・住民の無病息災と豊かな生活の営みを祈願し、住民の心の支えとなっています。

明細帳によると、およそ八百有余年の歴史があり、明治40年に境内八大王子・蛭子社・鍛宮社・龍宮社・天神社・稻荷社・琴平社・八幡社・弁天社を合祀して「土宮神社」となりました。



7 飛鳥山龍泉寺跡地

境内250坪の大きさで土宮神社横にありました。文明16年3月(1484)小浜民部左衛門尉時綱の開祖、僧利庵の開山に係わり、天保11年8月(1840)鳥羽の曹洞宗常安寺の末寺となりました。寺内に小浜氏の墓、位牌及び諸々の縁深いものがありましたが昭和36年の出火で消失してしまいました。
現在は妙見さんが建てられています。



8 丸一さん

土宮神社横にある丸一さんは、火事の守り神とされています。
あご瀬のブリ網にかかって引き上げられました。海(水)から揚げたので火事の守り神としたようです。
小浜のブリ網は古書では「富利網」とめでたい名前になっています。



10 観龍山済渡院

浄土宗京都知恩院末、本尊阿弥陀如来、永正12年(1515)丹譽上人が開基。
330坪の広い境内に114坪の建物が建立されていましたが、文化6年(1809)以前の火事で焼失し、記録を失い、同年再建。
境内には「南無阿弥陀仏鑑水族碑」(明治30年建立)・「ゆ虫供養碑」(昭和30年建立)、そして切腹というショッキングな最期で小浜の海を守った「誓誓傳心信士」の墓碑が、あご瀬先祖として墓地の入り口に祭られています。

小浜文庫市指定有形文化財(古文書)

天正年間(1573年)から明治に至る貴重な漁村資料漁場論争、難破記録、水主の事故記録、検地帳、宗旨改帳など1200点にのぼる。主なものは天正16年(1588年)の太閤検地帳、表紙に「度会郡小浜検地帳」とある。

その他文化財

OHAMA



小浜町は鳥羽市の北部に位置し、市街地に隣接しながら今も豊かな自然が残された、人口約800人の漁村です。

豊臣秀吉が天下を統一した当時から江戸末期までの鳥羽港はこの小浜の港でした。

豊かな漁場と、タイやスズキ、ヒラメ等の「一本釣り」「蛸がめ」「わかめ・カキの養殖」等々の伝統漁法が伝承されています。

11 旧小浜小学校

1876年の創立、2007年3月(平成19年)に131年の歴史に幕を閉じました。現校舎は平成8年に建てられ平成23年からは小浜町の「シンボルドーム」公民館として地域住民が集まって、実生活に即した学習活動・趣味のサークル活動等地域づくりの場として有効に活用されています。

12 鳥羽磯部漁業協同組合小浜支所と魚市場

原則週5日(火・土休み)4月~12月の間に市が開かれます。

5月~11月にかけてのタク・スズキ・タイの最盛期には魚商人の掛け声も高く市場は特に賑わいをみせ、この期間は釣り筏も営業しています。問い合わせ ☎0599 (25) 2118

13 城山(小浜砦)

現在は湯快リゾートのホテルが建っている城山には、かつて小浜家の砦がありました。400年も昔の群雄割拠の時代に起きた出来事を知る由もなく、観光客で賑わっています。

小浜は小浜家によって作られたと言っても過言ではありません。神社、寺を建て、城山や海を残し、何一つとして小浜家と縁のないものはありません。



14 伊賀塚

西崎の突端にある「南無妙法蓮華経」の石塚です。小浜民部苦戦の報を受け、民部の親戚にあたる伊賀の武士18人が応援に駆けつけましたが、すでに落城と聞きこの場で切腹をしました。村人が碑を建て供養をしたものです。



15 無縁仏墓石群

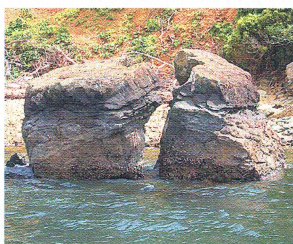
船乗りの無縁仏。小浜は伊勢湾と外洋を結び回船の風待ち港として栄えました。江戸時代後期には18軒もの船宿があったと言われていますが、病氣や事故で亡くなった船乗りの弔いは船宿の責任で行われ、地元住民とは区別された場所に埋葬されました。



16 穴あき岩

小浜半島の先端部に近い東側海岸(イルカ島対岸)にあり、干潮時には穴から観光客を乗せた遊覧船が覗けます。

穴は満潮になると海面下に没してしまいます。



17 割れ石

半島北側の突端、^{いのこべた}猪子辺田にある大岩。明治42年頃に港の堤防石を切り取った残り石です。



18 日向島(イルカ島)

小浜漁港の前にあるイルカの形をした自然豊かな離島です。

遊覧船で行くことが出来、ダイナミックなイルカショーやコミカルなアシカショーが楽しめます。鳥羽湾を一望できる展望台からの絶景も魅力です。☎0599-25-3145

島の名前は ①大村 この島に昔、寺があったという伝承がありますが、記事も跡も見あたりません。
②ボーズ島 ③御前島 ④小山 ⑤長山 ⑥お山 ⑦毛無石



19 飛島

昔(800年程前)は淡良伎島(あわらぎ島)と呼ばれていました。

古記によると「けな石いれて八島なり」とありますが、現在どう数えても七島となっており、記録にはカマダと言う島があったとされていますが、今は存在せず消えたと考えられます。



20 戸島(三ツ島)

穏やかな湾内に浮かぶ、飛び石のような三つの小島です。

本来「戸島」という名前の島群ですが、いつしか見たままの呼称で親しまれるようになりました。



21 魚見小屋(通称アラミ小屋)

ボラ漁は冬の水揚げの中心となる漁で、九鬼時代には城普請の資金調達を課せられた漁師が、ボラ漁の水揚げで支払ったことから「普請漁り」の名がつけました。このボラ漁でボラの大群を見つけるための魚見をする小屋です。

グランドホテルのある山頂と日向島(イルカ島)、カッケの山頂にありました。

小浜旅館街活性化組合

- 1 お部屋はすべてオーシャンビュー、鳥羽湾一望のリゾートホテル
鳥羽グランドホテル
TEL 0599-25-4141 <https://jgh.jp>
- 2 窓の外に広がる鳥羽湾のパノラマ、屋形船でクルーズも
胡蝶蘭
TEL 0599-25-2170 <https://kochoran.co.jp>
- 3 愛犬・ペット同伴でホテルに宿泊、ドッグランもございます
鳥羽わんわんパラダイスホテル
TEL 0599-25-5005 <https://www.wanpara.jp/toba/>
- 4 海を一望できる客室に展望風呂付、釣りも出来るお宿です
浜辺屋
TEL 0599-25-2259 <http://hamabeya.com>
- 5 窓を開ければ心地よい波音と景勝三ツ島、海の上で温泉露天風呂を
海楽園
TEL 0599-25-3202 <https://kairakuen.net>
- 6 おいしい、楽しい、くつろげる。三拍子揃った鳥羽のお宿
小浜荘
TEL 0599-25-3551 <https://ohamaso.com>

小浜旅館街活性化組合のイベント

夏の小浜連続花火



毎年8月に開催。
浜辺湾の海上から打ち上げられる花火を旅館に泊まって眺めることができます。

三ツ島ライトアップ事業



毎日午後8時半～午前0時まで点灯。
鳥羽市沖の名勝三ツ島が暗い海にほのかに浮かびあがる、幻想的な様をごらんいただけます。

■その他の施設

鳥羽市水産研究所、三重大学水産実験所
湯快リゾート鳥羽彩朝楽

お問い合わせ先：鳥羽市観光協会 TEL0599-25-3019



編集発行 小浜文化財保存会 小浜旅館街活性化組合
協力 鳥羽市・鳥羽市観光協会・岡村廣治